

学 科 学 年	C1	科目分類	地球環境学概論 [地概] Introduction to Earth Environmental Science	講義	前期	学習教育 目標	蓮実 文彦
				必修	1履修単 位	B-1	HASUMI Fumihiko
概 要	本授業では、これから科学技術を学ぼうとする学生諸君に、地球環境のこれまでと現状とを紹介する。特に人と技術が関わり、環境に影響を与えた事柄を中心に学ぶ。また、現在の技術や社会が行っている環境への取り組みについても学ぶ。その上で、技術を創造する際に環境への配慮が重要であることを理解できるようにする。						
科目目標 (到達目標)	日本、および世界の環境問題に関する歴史と現状が理解できること(特に技術との関連を中心に)。今後の技術開発では、環境保全の視点が重要であることを理解できること。						
教科書 器材等	みんなの地球 浦野紘平著 オーム社、						
評価の基準と 方法	定期試験 80%、課題 10%、授業への姿勢(ノート内容) 10%として評価する。60点以上を合格とする。						
関連科目	化学、生物学						
授業計画							
参観:							
第1回	ガイダンス(本授業の目的), イースター島の歴史						
第2回	水俣病						
第3回	狂牛病						
第4回	環境ホルモンとしてのダイオキシン						
第5回	ダイオキシン(その2 何が真実か)						
第6回	地球温暖化とエネルギー						
第7回	地球温暖化とエネルギー						
第8回	中間試験						
第9回	オゾン層破壊						
第10回	排水に関わる問題						
第11回	排水に関わる問題						
第12回	ごみ問題						
第13回	ごみ問題						
第14回	地球にやさしい社会をつくるために(環境基本法、リサイクル関連法律、PRTR)						
第15回	期末試験						
第16回							
第17回							
第18回							
第19回							
第20回							
第21回							
第22回							
第23回							
第24回							
第25回							
第26回							
第27回							
第28回							
第29回							
第30回							
オフィス アワー	昼休みと火曜日、木曜日の放課後に対応できる。						
授業アンケート への対応	試験の内容や量に関する指摘を多く受けた。授業の中で、環境問題として認識してもらいたい箇所を明示し、これを試験に出題していく。						
備 考	本授業に関する質問は、下記のメールアドレスでも受け付ける hasumi@numazu- ct.ac.jp						
更新履歴	2007.03.18初版						